

「人」と「人」が交わるフリーマガジン

KRPPRESS

5

2012
vol.124
MAY



有限会社京都情報化支援事務所
取締役所長 福竹 康志 氏



株式会社イー・エージェンシー
代表取締役 甲斐 真樹 氏

KRPから世界へ！

地区の支援機関のメニューも充実し、
加速するKRP入居企業の
海外拠点展開をレポート！



MAP ENGINEERING 株式会社
代表取締役 安倍 統 氏



株式会社フューチャースピリッツ
代表取締役 谷孝 大 氏



株式会社メディアウオーズ
(左) 代表取締役 三上 出 氏 代表取締役社長 今井 寿人 氏

KRP



台湾 TAIWAN

有限会社 京都情報化支援事務所 [取締役所長 福竹 康志 氏]

児童相談のシステム支援で台湾に進出。

児童相談所に向けた業務システムのパッケージを開発し、その販売・運用を中心業務とする京都情報化支援事務所は、昨年からは台湾の高雄市に進出、1年以内に本格業務をスタートさせるべく基盤づくりに努めている。

子どものためのNPO活動や児童虐待の現状を知り、この事業に至った取締役所長の福竹康志氏は「経済発展の裏には必ず負の産物として社会問題が発生する。その分野で社会に役立つ仕事がしたいと思った」と話す。事務手続きに忙殺されるケースワーカーの日常をシステム開発・運用を介して効率化し、子どもたちのケアに集中しやすい環境づくりを、との事業の意義は認められ、2008年京都府中小企業「知恵の経営」実践モデル企業に認定。児童虐待などの相談件数が増加するなか、当事業へのニーズは高く、いくつかの自治体で同社のシステムが導入されている。視点は当然ながら多くの社会問題を抱える経済大国・中国へ。

スタッフの事前視察など検討を進めるうち、昨年末にKRPで開かれた「日台ビジネス合同会議in京都」における台湾要人との

出会いが直接のきっかけとなり、台湾への進出を決意。台北に次ぐ第二の都市、高雄市に単身乗り込んで会社設立のための準備を進めている。親日的な国民性に加えて、投資協定が整備されているなどビジネス誘致に熱心な点がありがたいと福竹氏。業務のかたわら北京語はもちろん台湾の歴史や文化を猛勉強。将来的に中国へ進出するためにも、文化的に近い台湾での経験やルートが大いに役立つ、と見ている。



1カ月に一度日本に帰れるかどうかという状態に「まるで単身赴任」と苦笑する福竹氏。



中国 CHINA

MAP ENGINEERING 株式会社 [代表取締役 安倍 統 氏]

成長が期待される中国・西安でさらに飛躍を。

工場機械の制御プログラムの開発やソリューション・サービスを行うMAP ENGINEERING株式会社は、2005年から中国・西安で事業を展開。西安ソフトウェアパークに事務所を設け、技術者10人を含む12人の社員が常駐、日系企業を対象に工場向け自動化のソフト開発や液晶関連装置の設計・製作を手掛けている。7年目を迎えた今、通訳なしでの交渉にも慣れ、中国国内での新たな受注件数も増えてきた。

また、2010年には高技術企業に選ばれた。当初は上海でのグローバルな展開を目指していたが、コスト面の折り合いがつかずに断念。西安進出のきっかけは、西安高新区管理委員会の投資説明会の担当者と出会ったこと。いろいろと便宜を図ってもらい、会社設立後の通訳や求人活動なども大いに助けてもらったという。「怖いもの知らずで人脈なしのまま出てきたので…本当に感謝しています」と、代表取締役の安倍統氏は当時を振り返る。

中国内陸の経済特区に認定されている西安では、この3年で消費力が約60%も伸びていて、まだまだ魅力的な市場が広がっている。日本とは違った形態や方法にトライできる楽しみがあると、安倍氏は今後の事業展開に期待をかける。将来的にはソフト開発の拠点としての西安のほか、情報発信・収集のために上海にも拠点を、と夢を膨らませている。



在住7年、西安は京都に似ていて好きだという安倍氏。内陸に進出する企業をサポートしていきたいと。

